


WOWOW

番組リリース

2012.01.10発行 No.2012-1902

ステージ

「オペラ座の怪人」25周年記念公演 in ロンドン

3月20日(火・祝)夜 8:00 

5.1

初公演以来、27カ国で公演され、累計1億3000万の観客を動員したアンドリュー・ロイド＝ウェバーの大ヒット・ミュージカルの25周年記念特別公演をテレビ初でご紹介



(c)2011 The Really Useful Group Limited. All Rights Reserved.

1986年のロンドンでの初演以来、全世界で上演され続け、世界のエンターテインメント史上に残るヒット作となった「オペラ座の怪人」。アメリカのブロードウェイ、日本での劇団四季の公演などで、誰もが知る存在となった本作の、ロンドンで行なわれた25周年記念公演をテレビ初放送する。

出演者やオーケストラは総勢200名以上にのぼり、記念公演のために特別な舞台装置や特殊効果を配した。次から次へと繰り広げられる豪華絢爛な演出の中、ロイヤルバレエ・プリンシパルのセルゲイ・ポルーニンが特別出演するバレエシーンやオペラシーンは、一層華やかに。カーテンコールではオリジナル・キャストのサラ・ブライマンや歴代の“怪人”役たちが出演し、有名なテーマ曲でその歌声を披露。これこそオペラ座の怪人の決定版ともいえる究極の臨場感あふれるステージとなった。

<ストーリー>

19世紀のパリ・オペラ座。新作オペラ稽古中の事故に腹を立てた主演歌手に代わり、急遽コーラスガールのクリスティーン(シエラ・ボーゲス)が代役に立てられる。見事公演を成功させたクリスティーン。それは、オペラ座の地下に住み着く“怪人”(ラミン・カリムルー)がひそかに導いてきたからであった。醜い顔をマスクで隠した“怪人”は、公演後のクリスティーンを地下に連れ出し、さらに歌のレッスンをほどこす。

次の公演を控え、オペラ座の支配人の元に“怪人”から手紙が届く。公演でクリスティーンを主演させることなどを指示し、従わないと災いが起こると警告した手紙を、支配人たちは無視。さらに、クリスティーンが幼なじみのラウル(ハドリー・フレイザー)と愛し合っていることを知り、“怪人”は怒りと嫉妬に震える。

収録日/2011年10月

収録場所/イギリス・ロンドン ロイヤル・アルバート・ホール

スタッフ・キャスト/

製作: キャメロン・マッキントッシュ

作曲: アンドリュー・ロイド＝ウェバー

出演: ラミン・カリムルー、シエラ・ボーゲス、ハドリー・フレイザー、セルゲイ・ポルーニン

●新規・追加登録の方はこちら→<https://prgnews.wowow.co.jp/>

●番組写真・資料のお問い合わせ先: Tel. 03-4330-8155 Fax. 03-4330-8156(情報センター)

*都合により、番組タイトル、内容、放送日時を変更する場合があります。